

平成29年度 第2回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録（要点筆記）

日 時：平成29年10月25日（水） 15：30～16：10

場 所：江別市民会館 32号室

出席委員：澤井秀座長、中川雅志座長代理、粕谷堅一郎委員、伊藤留美子委員
龍田昌樹委員、吉田岳夫委員、井上智委員、林武志委員（計8名）

オブザーバー：渡邊幹夫（石狩振興局地域創生部長）

欠席委員：中橋伸郎委員、阿部宏昭委員、吉川邦俊委員、本間雅彦委員（計4名）

事務局：企画政策部北川部長、企画政策部福島次長、
政策推進課中島参事、天明屋主査、山口主事、
商工労働課富田参事、羽田主査

傍聴者：0名

会議概要

1 開会

2 議事（1）

【江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況について説明】

○澤井座長

計画策定から1、2年目の結果のため、実績数値に一喜一憂してはいけないと思うが、1年目よりも低下している指標が複数ある。このことに関しては、なぜ低下したのか、なぜ上がらないのかという分析をしていただき、目標値に向けて取組を行ってほしい。

先週、東京で「美味しい江別ナイト」が開催されていたが、先ほど説明のあった総合特区推進事業とは関係あるのか。

○事務局

総合特区推進事業の一環として行ったものである。食品販売事業者向けに江別産品をPRし、首都圏で販売を拡大する取組となっている。

○林委員

基本目標②「えべつへの新しい人の流れをつくる」の指標にある「江別市の認知度の道内順位」は、どのような調査による順位なのか。

○事務局

株式会社ブランド総合研究所という民間の調査会社の全国調査の結果である。全国の自治体の認知度を調査しており、北海道内の市の中で江別市が第何位にあるかというも

のである。

○林委員

了。

○澤井座長

それでは、議事（２）について事務局より説明願う。

議事（２）

【地方創生推進交付金採択事業の取組事例の紹介について説明】

○伊藤委員

資料３「有給インターンシップ等地域就職支援事業について」の２ページ目、４「登録企業の業種」での説明にて、土日の派遣や移動手段がない、駅の近くといった内容があったが、駅の近くの企業は限られている。工業団地の周辺だと自動車があれば行くことが難しい状況であるが、企業は何か対策を考えているのか。

○事務局

実際に登録されている２９企業のうち、学生が派遣されている企業は十数社である。企業側から、例えば、豊幌地区の農業生産法人の場合、農業インターンシップという形で研修を行っているが、事業者から駅まで送迎をしていただいたり、工夫をして、学生が参加しやすい環境を企業努力によって行っていただいているのが現状である。

○伊藤委員

了。

○澤井座長

４ページ目、８「今後の課題」に記載があるように、「登録学生数の確保」や「受入れ企業数の増加及び職種の幅を広げる」ことが必要であると考え。現状では登録する学生と受入れ側の企業のバランスはどのような感じなのか。

○事務局

事務職を希望する学生が多く、基本的には土日が作業する時間となっているが、可能であれば学生も平日にインターンシップに参加したいという希望がある。また、企業側としても平日に来ていただきたい部分があり、若干ずれが生じている。その部分を少しでも埋められるよう多くの企業に受入れていただけるよう考えている。

○澤井座長

平日でも授業の都合上、空いている時間帯がある学生もいる。その場合、きめ細かく平日の昼間に対応することは難しいか。

○事務局

あくまでも学業優先だが、空いている時間帯で学生と企業が調整できる部分があれば、人材派遣会社のキャリアバンクを通して調整していただく形となる。

○澤井座長

マッチングなどに手間がかかるため、大変かと思う。

それでは、議事（3）その他について何かあるか。

【質疑なし】

3 その他

○事務局

本会議は、今年度の開催予定は今回で最後となる。国の動向などにより開催することになった際には連絡し、開催としたいと思う。

成果指標が低下したものについて、平成29年度はまち・ひと・しごと創生総合戦略の計画中間年となっており、今後は事業を本格化され成果が問われる年度となっていくため、その部分を明らかにし、成果指標の向上に向けて取り組んでいきたいと考えている。

4 閉会